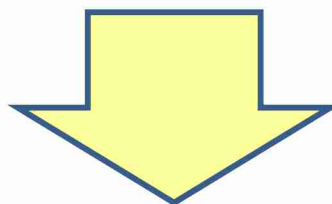


# 那珂川圏域河川整備計画の変更項目の 骨子（案）について

令和2年1月25日  
茨城県土木部河川課

## 今次洪水の被害を受けての方向性

- 令和元年10月の台風第19号においては、
  - ・ 那珂川本川と藤井川等の支川の合流部付近において、本川の水位上昇の影響等により、甚大な浸水被害が発生。



- 県としては、今回のような浸水被害が繰り返されないために、直轄区間の整備計画の変更と併せて、那珂川本川の合流部付近の県管理の支川において、国と調整、連携しながら治水対策を実施していく必要がある。

# 那珂川圏域河川整備計画の変更項目の骨子(案)

## ①洪水を安全に流下させるための対策

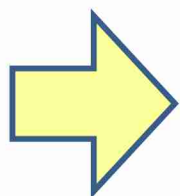
那珂川本川の背水影響区間のある支川において、堤防の高さ又は幅が不足している箇所のうち、家屋等への被害が生じるおそれのある箇所について、新たに計画に位置付け、堤防の嵩上げ、拡築を実施。

## ②施設規模を上回る洪水に対する対策

本川の合流部付近等の支川において、粘り強い堤防の整備(危機管理型ハード対策)を追記。

## ③社会全体での対応

住民一人一人の防災行動をあらかじめ定めるマイ・タイムラインの取組支援等のソフト対策を追記。



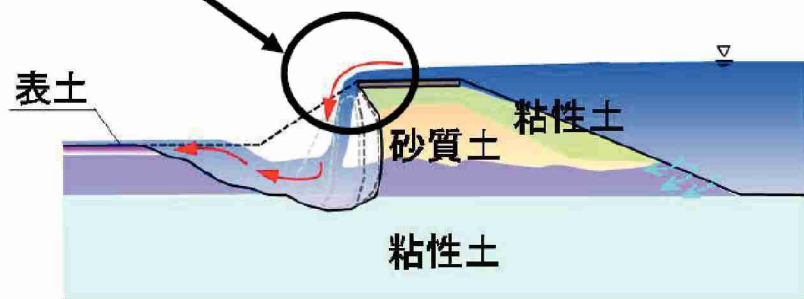
那珂川本川の整備計画の変更内容や本委員会でご議論いただいた内容、減災対策協議会(那珂川緊急対策プロジェクト)での市町村からの意見等も踏まえ、引き続き検討を進める。

# 対策メニュー（危機管理型ハード対策）

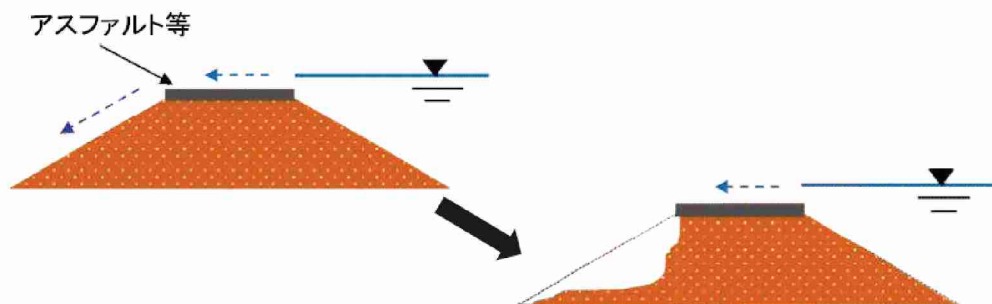
本川との合流部等について、越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、粘り強い堤防の整備を行う。

## 堤防天端の保護

- 堤防天端をアスファルト等で保護し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす

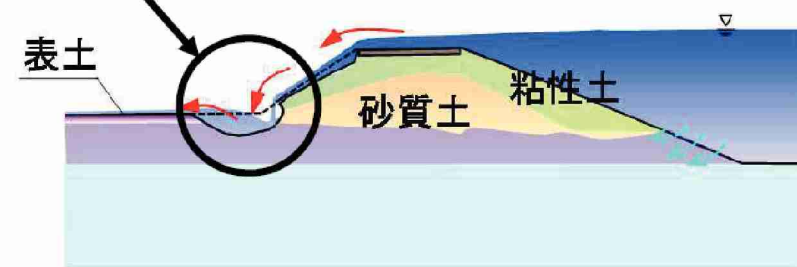


堤防天端をアスファルト等で保護した堤防では、ある程度の時間、アスファルト等が残っている。



## 堤防裏法尻の補強

- 裏法尻をブロック等で補強し、深掘れの進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



堤防裏法尻をブロック等で補強

